

栃木県高齢者支援計画
「はつらつプラン21(九期計画)」における
認知症施策の推進(案)について

九期計画骨子の概要

※栃木県高齢者支援計画「はつらっプラン21(九期計画)」骨子より

○計画策定の趣旨

- ・ 計画期間中に団塊世代が75歳以上となる2025年を迎えることを踏まえ、その先の団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据えた中長期的な目標として、県及び市町が目指す高齢者支援施策の方向性を示す。

○計画期間

- ・ 令和6(2024)年度から令和8(2026)年度まで(3年間)

○施策の体系

第1章:生きがいづくりの推進

第2章:介護予防・日常生活支援の推進

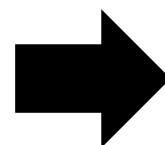
第3章:介護サービスの充実・強化

第4章:在宅医療・介護連携の推進

第5章:認知症施策の推進

第6章:介護人材の確保・育成

第7章:安全・安心な暮らしの確保



栃木県認知症施策推進会議の議論を踏まえ、12月15日に開催予定の第3回栃木県高齢者支援計画推進委員会に提示

第5章の主な内容

- 認知症の方やその家族の視点を重視し、認知症になっても尊厳を保持しつつ、希望を持って暮らすことができる共生社会の実現に向けた取組について記載

第5章 認知症施策の推進(案)について

検討の方向性

※栃木県高齢者支援計画「はつらっプラン21(九期計画)」骨子より

- 認知症施策推進大綱の中間評価を踏まえ、認知症本人の視点に立った普及啓発や本人発信支援等の更なる取組について検討。
- 認知症基本法の施行に合わせ国が策定する認知症施策推進基本計画の動向にも注視していく。



基本的な考え方

認知症になった場合でも、個人として尊重され、自分らしく暮らしていくことは、県民共通の願いです。

このため、認知症に関する理解の普及や、介護する家族が相互にサポートできる体制の整備促進に努めるほか、医療と介護の関係者の認知症への対応力向上を図るとともに、認知症の早期発見・早期診断及び早期対応を軸とした認知症医療連携体制の構築や、若年性認知症への支援体制の整備を推進します。

第5章 認知症施策の推進(案)について

構 成	
項 目	素案作成の検討ポイント
1 認知症に関する理解の促進と本人・家族への支援	・全県民に対する認知症や認知症の人に関する正しい知識の理解促進を図るための普及啓発。 ・認知症の人本人の視点を重視した施策の推進。
2 認知症の早期発見・早期診断及び早期対応に向けた体制の構築	・認知症疾患医療センターにおける診断後の支援の強化や地域との連携促進。 ・地域包括支援センター、認知症地域支援推進員の効果的な機能の発揮。
3 認知症対応力の向上	・BPSD等への適切な対応や認知症の人の意思決定支援 ・認知症の人や家族に関わる者への対応力向上研修、認知症介護研修の実施。
4 若年性認知症への対応	・地域住民に加え、事業主等への若年性認知症の正しい理解の促進。 ・若年性認知症支援コーディネーターをはじめとした相談機関への連携支援。

○今後のスケジュール(予定)

- ・令和5(2023)年12月15日(金) 第3回栃木県高齢者支援計画推進委員会
- ・令和5(2023)年12月下旬 パブリックコメント(令和6(2024)年1月下旬まで。)
- ・令和6(2024)年3月上旬 第3回栃木県認知症施策推進会議